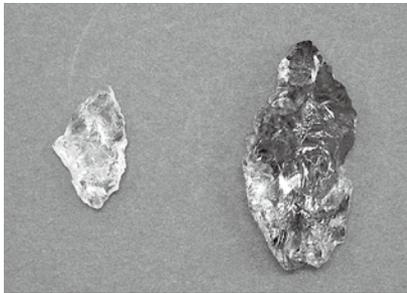


笠間市指定文化財「水晶製石器」など3件を指定

笠間市教育委員会は3月28日、市文化財保護審議会の答申に基づき、以下の3件を新たに市指定文化財として指定しました。今回の3件を加えると、笠間市の文化財は、国指定が8件、県指定が20件、市指定が115件、合計143件となります。

No	名称	数	種類	所有者	所在地
1	水晶製石器	34点	考古資料	笠間市	石井
2	蔵骨器	1対	考古資料	笠間市	平町
3	館岸城跡		史跡	個人等	上郷



水晶製石器



蔵骨器



館岸城跡



▲ いこいの家「はなさか」の風呂

銭湯

市長コラム

「いい湯だな・・・」

3月末に京都へ行った時のこと
 目的が終わり、帰路に着こうと
 歩いていると、1軒の銭湯の「の
 れん」が目にとまり、吸い込まれ
 るように「のれん」をくぐりま
 した。何も持たずに立ち寄ったので、
 番台さんへ料金を払い、タオルと
 石鹸を購入し、中へ入ると・・・。
 使い込まれた木のロッカー、日に
 焼けた30年前のポスター、古い体
 重計、首ふり扇風機、ジュースを
 冷やしておく冷蔵庫、まるで映画

「オールウェイズ三丁目・・・」の
 ようであり、懐かしい学生時代の
 銭湯を思い出します。早速、洗い
 場へ行き、体を洗い、熱い湯船に
 入り、壁の絵を見ながら最高の気
 分に浸ってきました。

帰りがけ、1枚のチラシが視界
 に入り、壁に貼られたその案内を
 読むと、「3月31日で閉店」する
 の案内でした。

銭湯は風呂好きの日本人にとっ
 ては大切にしていかなければなら
 ない伝統的生活文化であると思
 います。しかし、時代の移り変わ
 りの中では、お客が少なくなっ
 ているとことです。閉店の案内を
 見てさびしさと厳しさを感じました。

現在、笠間市にこのような銭湯
 は残っていません。永い歴史の中
 には、銭湯のように時代とともに
 なくなってしまうものもあります
 が、後世に伝えていくべき歴史的、
 文化的な遺産もあります。特に、
 地域の伝統文化に関わるものは、
 今日に至るまでの大事な足跡です。
 笠間市にはそういった貴重な遺産
 がたくさんあります。先人の歩ん
 だ歴史を後世に伝えていくことは、
 今を生きる我々のつとめではない
 でしょうか。

笠間市長
 山口伸樹